

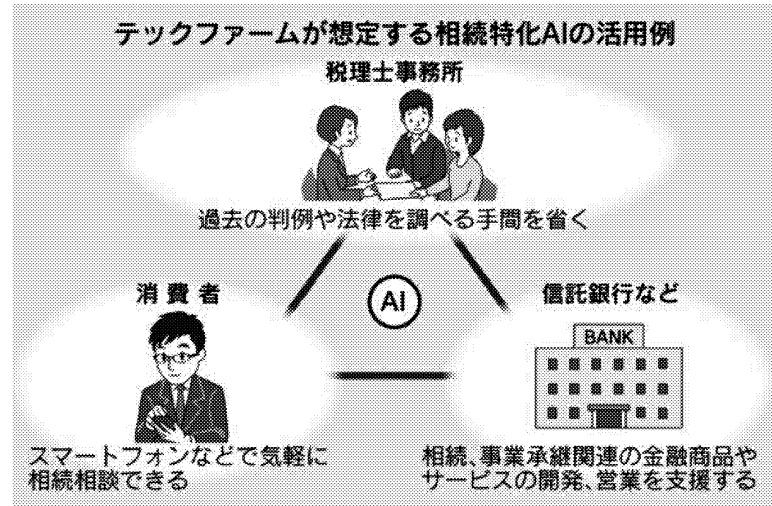
AIに相続相談

スマートフォン向けアプリ開発のテックファームはランドマーク税理士法人（東京・千代田）と組み、人工知能（AI）を活用した相続相談サービスを展開する。ランドマークの持つ相続申告事例などを分析し、保有財産や家族構成などの条件に応じて適切な相続方法を提示。税理士法人が業務を効率化したり、消費者が気軽に相談したりできるようにする。

まず、テックファームがランドマークの持つ約2000件の相続申告事例と約1万件の相続相談内容を基にデータベースを作る。AI技術を導入して相談者から家族構成などの条件を聞き出し、

テックファームと税理士法人 申告・相談事例を分析

過去の相続条件から適切な方法を割り出す。AIとの対話は音声とテキスト



トの両方に対応させる。談内容を入力すると、す年内にもランドマークぐに提案する相続方法を利用する。顧客からの相が過去の事例などを手作

業で探したり、検証したりする手間が省ける。税理士法人の事務所に来訪しなくても、気軽に相続の相談は家族の死亡や遺族同士のいさかいを避けたい。ただ、相続といった複雑な事情も絡みがち。スタッフは相談者の心のケアなど人間ならではのサービスに気が配りやすくなる。

2015年の相続税改正により相続税の対象者が増加。一部の資産家だけでなくサラリーマン層でも相続税対策が必要になり、ランドマークによる

と相続相談は年8万件と改正前の2倍に急増。自営業の場合は事業承継が問題にもなっている。テックファームではランドマークと開発する相続・事業承継を皮切りに、専門分野の業務をAIで効率化する汎用システムを作りたい考え。金融や法律など細かい規則や過去の事例から「答え」を見つける作業はAIで代替できる。人間は

しゃくし定規には対応できない領域の調整役や前例のない新しい業務の創造に時間と労力を振り向けられるようになる。

（新田祐司）